

10月23日、第18回子ども短歌・俳句・川柳展の表彰式が中央公民館で行われ、町内の小中学校の児童や生徒から応募された作品2419点のうち、245点が入選作品となり、各部門の優秀作品には、それぞれ町の文人の名を冠した佐藤佐太郎賞、山家竹石賞、葛作太郎賞などが贈られました。



短歌

- 〈小学生の部〉
佐藤佐太郎賞
 はじめてのじいじと登る夏の山
 葉っぱの木かげをゆつくり歩く
 小山遥香さん(大小3年)
町長賞
 会うたびに大きくなったと祖母
 が言う頭をなでる手が温かい
 渡邊夕夏さん(大小6年)
町議会議長賞
 おぼんだねゆめでもいいよあいに
 きてもういちどくまとおはなしし
 たい 高橋菜広さん(南小3年)
中央公民館長賞
 暑い日に家で育てたすいかかね
 水の中からぼくをよんでる
 鈴木みのりさん(金小4年)
- 〈中学生の部〉
佐藤佐太郎賞
 「ポパイ」だと昔言われた祖父
 の腕力比べはいまだ叶わぬ
 佐藤瑠玖さん(金中2年)
町長賞
 がんばれよそばで見守る扇風機
 やさしい風でページをめくる
 遠藤怜那さん(大中3年)
町議会議長賞
 麦畑風にさらさら金の海すす
 む自転車一せきの舟
 本木里奈さん(金中2年)
中央公民館長賞
 そうめんをすする僕らを見る
 母のひたいに流れる大粒の汗
 阿部大吾さん(大中3年)

俳句

- 〈小学生の部〉
山家竹石賞
 光る砂曇さ忘れる潮の風
 石本航河さん(大小6年)
町長賞
 流れ星願い言えずに消えて行く
 佐藤美羽さん(大小6年)
教育長賞
 雨上がりにじの向こうになにあるの
 四釜 恋さん(大小4年)
中央公民館長賞
 夏の山雲をぬければ別世界
 柴崎湧大さん(大小5年)
- 〈中学生の部〉
山家竹石賞
 水たまりのぞく青空虹はしる
 遠藤怜那さん(大中3年)
町長賞
 おがらたきまよわずきてと手を合ひわす
 上田大貴さん(大中2年)
教育長賞
 新盆に曾祖母しのび集いける
 草刈脩杜さん(大中3年)
中央公民館長賞
 秋の路の琥珀の色にたそがれる
 佐々木暁さん(大中1年)

川柳

- 〈小学生の部〉
葛作太郎賞
 おはようと言われるだけで元気です
 加藤 然さん(大小4年)
町長賞
 友達と会話するたび心和らぐ
 高橋ことみさん(大小6年)
文化協会長賞
 たからものだいすきぼくのおにいちゃん
 おおばりようすけさん(南小1年)
金ヶ瀬公民館長賞
 ぼくとべたはじめてながなわじゃん
 ぶした 遠山楓河さん(南小1年)
- 〈中学生の部〉
葛作太郎賞
 祖母の顔笑顔のしわがふえていく
 成川真優さん(大中1年)
町長賞
 健康のありがたさ知る夏の風邪
 高橋百世さん(大中2年)
文化協会長賞
 ゴミよりも思い出でてくる大そうじ
 大宮健広さん(大中1年)
金ヶ瀬公民館長賞
 あの日より五度目の夏に何想う
 遠藤怜那さん(大中3年)

芸術の秋、文化の秋、満載!!
町民文化祭

10月7日から11月13日にかけて町民文化祭が開催されました。芸術の秋、文化の秋がぎっしりつまった催しの一部を写真でご紹介します。

展示の部 (10月23日・中央公民館)



◀ホールやロビーにたくさんの作品が展示され、来場者の目を楽しませました。和室では茶会が開かれ、お抹茶が振る舞われました。



スクエアダンス
 (10月30日・中央公民館)



▲フリフリの華やかな衣装でホールを舞いました。

舞踊文化祭
 (11月3日・中央公民館)

▼練習した成果を発揮し、ステージ上でも息ぴったり。



社交ダンスパーティー
 (11月6日・中央公民館)



▲次々と流れる音楽に合わせて、華麗に踊る愛好者の皆さん。

さわやか秋のコンサート
 (11月3日・えずこホール)



▲今年の全日本ギターコンクール合奏部門学校の部で、最優秀賞を受賞した大河原商業高等学校ギター部の演奏では、アンコールの声も。

邦楽の大祭典 (11月13日・中央公民館)



▲大河原児童センターの「民謡教室」の児童が「斎太郎節」など3曲を披露。

◀伸びやかな歌声が会場に響き渡りました。



▲12団体により本格的な歌や演奏、ダンスなどが披露されました。



▲父兄が見守るなか、大河原小学校4年生有志が堂々と「さんさ時雨」を熱唱。

佐藤佐太郎(さとうさたろう/明治42年大河原町生まれ。斎藤茂吉に師事し、多くの歌集を遺す。宮中歌会始めの選者にも名を連ねた)
 山家 竹石(やんべちくせき/明治43年生まれ。昭和38年句集「仮寓十年」を出版。町樹水俳句会会長、町文化協会会長を歴任)
 葛作太郎(つたさくたろう/大正8年大河原町生まれ。昭和26年投句入選以来、作句活動を行い「川柳宮城野」などで活躍)